

❖ 講義

日程	研修時間	講義時間	内容		
1日目 7月23日(土)	9:20 ~ 9:50	0.5	オリエンテーション		
	9:50 ~ 10:00		小休止		
	10:00 ~ 11:40 (講義 1.5 時間) (小休止10分含む)	0.5	人間と社会	1. 介護職員と医療的ケア	
		1		2. 介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度	
		60分		昼休憩	
		12:40 ~ 17:00 (講義 4 時間) (小休止20分含む)	1	保健医療制度とチーム医療	1. 保健医療に関する制度
		0.5	2. 医療的行為に関係する法律		
		0.5	3. チーム医療と介護職員との連携		
		2	安全な療養生活	1. 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施	
		2		2. 救急蘇生法	
2日目 7月30日(土)	9:30 ~ 12:10 (講義 2.5 時間) (小休止10分含む)	0.5	清潔保持と感染予防	1. 感染予防	
		60分		昼休憩	
		13:10 ~ 16:30 (講義 3 時間) (小休止20分含む)	0.5	清潔保持と感染予防	2. 職員の感染予防
			0.5		3. 療養環境の清潔、消毒法
			1		4. 滅菌と消毒
			1	健康状態の把握	1. 身体・精神の健康
		0.5		2. 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)	
		0.5	緊急蘇生法	3. 急変状態について	
3日目 8月6日(土)	9:30 ~ 12:10 (講義 2.5 時間) (小休止10分含む)	0.5	緊急蘇生法	1. 緊急蘇生法を「1回」以上実施	
		60分			昼休憩
		13:10 ~ 17:00 (講義 3.5 時間) (小休止20分含む)		1.5	高齢者および障害児・者の 喀痰吸引概論
			1	2. いつもと違う呼吸状態	
			1	3. 喀痰吸引とは	
	4日目 8月13日(土)	9:30 ~ 11:40 (講義 2 時間) (小休止10分含む)	2		4. 人工呼吸器と吸引
		60分		昼休憩	
		12:40 ~ 16:30 (講義 3.5 時間) (小休止20分含む)	1	高齢者および障害児・者の 喀痰吸引概論	5. 子どもの吸引について
			0.5		6. 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意
			1		7. 呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)
			1		8. 喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認
5日目 8月20日(土)	9:30 ~ 11:40 (講義:2 時間) (小休止10分含む)	2		9. 急変・事故発生時の対応と事前対策	
		60分		昼休憩	
		12:40 ~ 17:00 (講義:4 時間) (小休止20分含む)	1.5	高齢者および障害児・者の 経管栄養概論	1. 消化器系のしくみとはたらき
			1		2. 消化・吸収とよくなる消化器の症状
			1		3. 経管栄養とは
			0.5		8. 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意
6日目 8月27日(土)	9:30 ~ 11:40 (講義:2 時間) (小休止10分含む)	1		4. 注入する内容に関する知識	
		1		5. 経管栄養実施上の留意点	
		60分		昼休憩	
		12:40 ~ 17:00 (講義:4 時間) (小休止20分含む)	1	高齢者および障害児・者の 経管栄養概論	6. 子どもの経管栄養について
			1		7. 経管栄養に関係する感染と予防
			1		9. 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認
7日目 9月3日(土)	9:30 ~ 12:10 (講義 2.5 時間) (小休止10分含む)	1	高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説	1. 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	
		1.5		2. 吸引の技術と留意点	
		60分		昼休憩	
		13:10 ~ 17:00 (講義 3.5 時間) (小休止20分含む)	3.5	高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説	2. 吸引の技術と留意点
	8日目 9月10日(土)	9:30 ~ 11:40 (講義:2 時間) (小休止10分含む)	1		3. 喀痰吸引にともなうケア
			1		4. 報告および記録
		60分		昼休憩	
		12:40 ~ 16:00 (講義 3 時間) (小休止20分含む)	1	高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説	1. 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持
			2		2. 経管栄養の技術と留意点
9日目 9月17日(土)		9:30 ~ 11:40 (講義:2 時間) (小休止10分含む)	2		
		60分		昼休憩	
		12:40 ~ 16:00 (講義 3 時間) (小休止20分含む)	1	高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説	2. 経管栄養の技術と留意点
			1		3. 経管栄養に必要なケア
			1		4. 報告および記録
	10日目 10月1日(土)	9:30 ~ 11:00	0.16	オリエンテーション	筆記テストに関するオリエンテーション(10分)
1			筆記テスト	筆記テスト	
0.34			オリエンテーション	補講/実地研修に関するオリエンテーション(20分)	
補講及び追試験 10月8日(土)	未定	1.5	補講	対象者:筆記テストで不合格となった者	
		1	追試験	※ 筆記テストに合格しないと演習を受けることができません	

❖ 演習

日程	研修時間	時間	
1日目 10月15日(土)	9:00 ~ 17:00	(期日内の指定された時間帯で 3時間程度 二号研修の数や種類によって 変動します)	たん吸引(口腔内・鼻腔内、気管カニューレ内部)、 経管栄養(胃ろう又は腸ろう、経鼻経管栄養)「5回」以上実施。 ※ 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養は、原則半固形栄養剤を含まない。 (希望する場合は、別紙1による。) 模擬演習及び記録時間を含む。
2日目 10月22日(土)			
3日目 10月29日(土)			

❖ 実地研修

・ 演習合格後、2月28日までに実施する。